

さて、私の現在、使用している固定の設備からお話ししましょう マスプロのウェーブハンタ - 430MHz ± 15エレ145MHz ± 10エレです。ロ-テ-タは おもいっきり奮発して、購入したクリエ-トのERC51¥58,500-とRC5-1¥39,800-です。アンテナの割には、ちょっとお金のかけすぎかな?? (おかげでしばらく金欠病になりました。まあ、台風が来ても安心して寝ていられるようになりましたが...無線機はIC-820 10W (実は2台目のIC-820なんです) アンテナと無線機は、D1小笠原諸島 父島へ連れていったセットです。それから無線機の中には、スワロ-誘電の

HEMT RFAMPを入れてあります。さて、こんな設備で、衛星に出てみると

AO-27 (FM)充分楽しめます。

FO-20 (SSB)充分楽しめます。

AO-10 (SSB)衛星の姿勢にもよりますが、かなり楽しめます。

送受信のバランスとしては、自分の下りが21kmまで聞こえます。

もちろんこんなときは、相手からはQRZが帰ってくるのは、まれ...

(FFTDSPで見えないときは、私の耳では聞こえない?)ということ

、しょぼ波か???いえいえ 受信性能が勝っているんです。無線機のSメ-タ-が振らなくても、充分QSOができます。衛星通信をやっている、みなさんは耳がいいですから??受信の145MHzのアンテナは、やはり水平偏波がお勧めです。ですが、都会?ではどこまで有効か?お隣で電波だされたら、ちょっときついでしょね...さて、打ち上げが未定になってしまった、フェ-ズ D。この衛星のダウンリンクの中に2.4GHzがあります。マキ電機のル-ブ八木とドレ-クの¥3000-ダウンコンバ-タを使用した受信設備を用意しています。コンバ-タのIFは145MHzですから、アップリンク(衛星へ向けての送り)は435MHzを使用します。アンテナは435MHzの8エレでもいっしょにカメラの三脚にアンテナを載せて、どこでも移動状態と考えています。それから、衛星から、今見えている範囲、方向をパソコンを使用して、表示しています。私はQRZのCD-ROMの中のSTSPPLUSを愛用しています。もちろん、毎週軌道要素といわれている、軌道計算のデ-タを入れかえています。さて、衛星通信に興味のある方は、<http://www.jamsat.or.jp/>をごらんください。AMSAT日本アマチュア衛星通信協会のブ-スでも、いろいろな話が聞けることと思います。6月末 AO-10の電源事情悪化と思われる、QRHならびに信号強度の低下が発生しています。よって状況を観察中です。つまり、衛星の使用を控えている状態です。実際にバスバンドを聞いていても、衛星の異変に気づいて、電波を止めている様子が見えます。現在AO-10の姿勢を安定させるためのスピニング、どんどん速度が落ちているような状態で、今後の成り行きを見守っているところです。ハムフェアに行ければ、今の設備で受信した、AO-10QSOの様子を録音したものをパソコンでご紹介しているかもしれません。サテライト通信に使用しているマスプロ75cm15ele 2m 10ele八木です。



スプ-トニック41の受信報告に対するQSL de JH0TOG

こんばんわ 新津の吉田です。明日のJARL支部大会の画像送信の前にテストがてら、フランスの高校生が製作し、MIRからほうだされた、スプ-トニック41の受信報告に対するQSLが、来ましたので、ご覧いただけます。

注)この前スペ-スシャトルからほうだされたのとは違います。Katsumi Yoshida(JH0TOG)



極東ロシアのアマチュア無線

de UA0LDX Victor Mudrenko in Vladivostok

I write about UHF in our region.

Last years radio connection on UHF has been actively developing in our region.

Due to appearing of professional radio stations it becomes so. That's why the lot of them are working on FM. There are about 100 stations in Vladivostok working. The calling frequency is 145.600 MHz. There are about 30 active stations working on 430 MHz. The calling frequency is 433.00 MHz (FM). On 1200 MHz there are 5 stations. They work only in tests on these frequencies. Every year we arrange 2 competitions: "the field day" will be arranged from July 31, to August, 1, and in September. The participants must dislocate on the whole region and climb the highest peaks. With great pleasure our radio amateurs take part in Japanese tests. But propagation doesn't take place every time. And, but we sometimes arrange QSO on 144 and 430 MHz with JA and HL, We are looking forward to the days of tests.

I'd like to notice, that the especial rise in development of radio connection of UHF in our region has taken place after you radio amateurs had given UHF stations to us.

I want to thank you greatly for this.

Excuse me for my bad English, if you have questions, I will answer to you.

Sincerely yours.

de UA0LDX Victor Mudrenko